

表1 リハ中止基準

1. 積極的なリハを実施しない場合

- ①安静時脈拍40／分以下または120／分以上
 - ②安静時収縮期血圧70mmHg以下または200mmHg以上
 - ③安静時拡張期血圧120mmHg以上
 - ④労作性狭心症の方
 - ⑤心房細動のある方で著しい徐脈または頻脈がある場合
 - ⑥心筋梗塞発症直後で循環動態が不良な場合
 - ⑦著しい不整脈がある場合
 - ⑧安静時胸痛がある場合
 - ⑨リハ実施前にすでに動悸・息切れ・胸痛のある場合
 - ⑩座位でめまい, 冷や汗, 嘔気などがある場合
 - ⑪安静時体温が38℃ 以上
 - ⑫安静時酸素飽和度 (SpO₂) 90%以下
-

2. 途中でリハを中止する場合

- ①中等度以上の呼吸困難, めまい, 嘔気, 狭心痛, 頭痛, 強い疲労感などが出現した場合
 - ②脈拍が140／分を超えた場合
 - ③運動時収縮期血圧が40mmHg以上, または拡張期血圧が20mmHg以上上昇した場合
 - ④頻呼吸 (30回／分以上), 息切れが出現した場合
 - ⑤運動により不整脈が増加した場合
 - ⑥徐脈が出現した場合
 - ⑦意識状態の悪化
-

3. いったんリハを中止し, 回復を待って再開する場合

- ①脈拍数が運動前の30%を超えた場合. ただし, 2分間の安静で10%以下に戻らない時は以後のリハを中止するか, または極めて軽労作のものに切り替える
 - ②脈拍が120／分を越えた場合
 - ③1分間10回以上の期外収縮が出現した場合
 - ④軽い動悸, 息切れが出現した場合
-

4. その他の注意が必要な場合

- ①血尿の出現
- ②喀痰量が増加している場合
- ③体重増加している場合
- ④倦怠感がある場合
- ⑤食欲不振時・空腹時
- ⑥下肢の浮腫が増加している場合